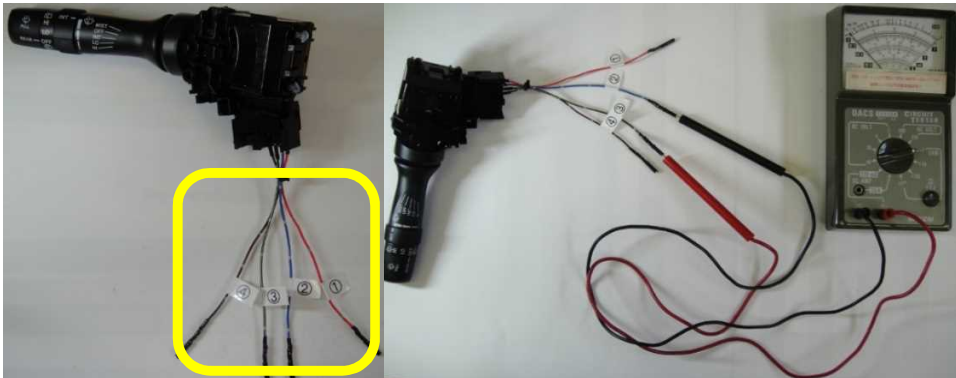


【問題1】留意事項（1／2）

1. ワイパ・スイッチ各端子間の導通点検では、点検用ハーネスを使用して点検すること。（下図参照）

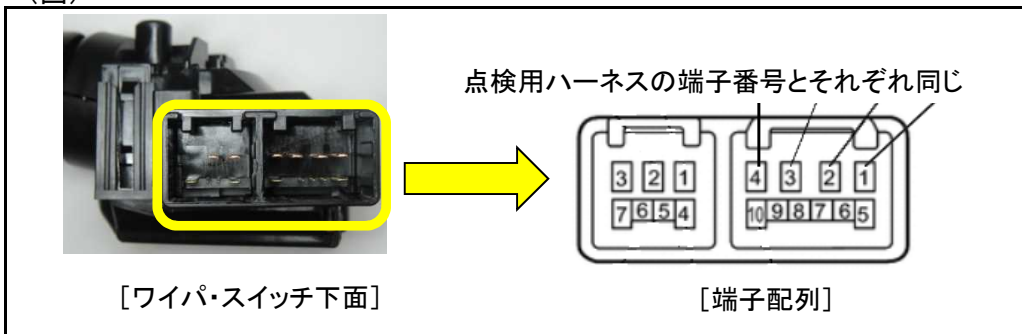
（図）



〔点検用ハーネス〕

2. ワイパ・スイッチの端子配列は、下図のとおりである。

（図）



〔ワイパ・スイッチ下面〕

〔端子配列〕

3. ワイパ・スイッチの操作は、下図のとおりである。

（図）



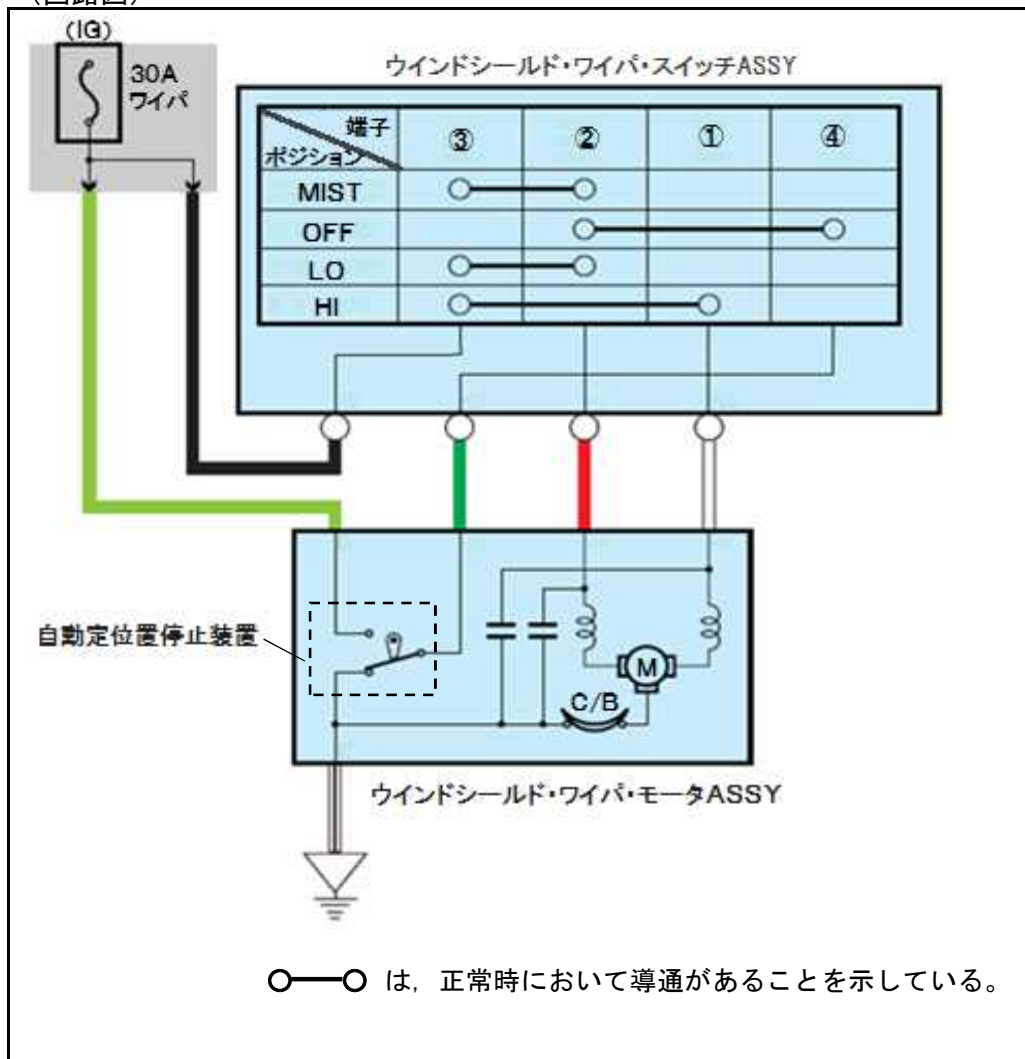
4. 点検作業時は、ハーネスが抜けないように注意すること。なお、作業時にハーネスが外れた場合、受験者が取り付けること。

（2枚目へ続く）

【問題1】留意事項（2／2）

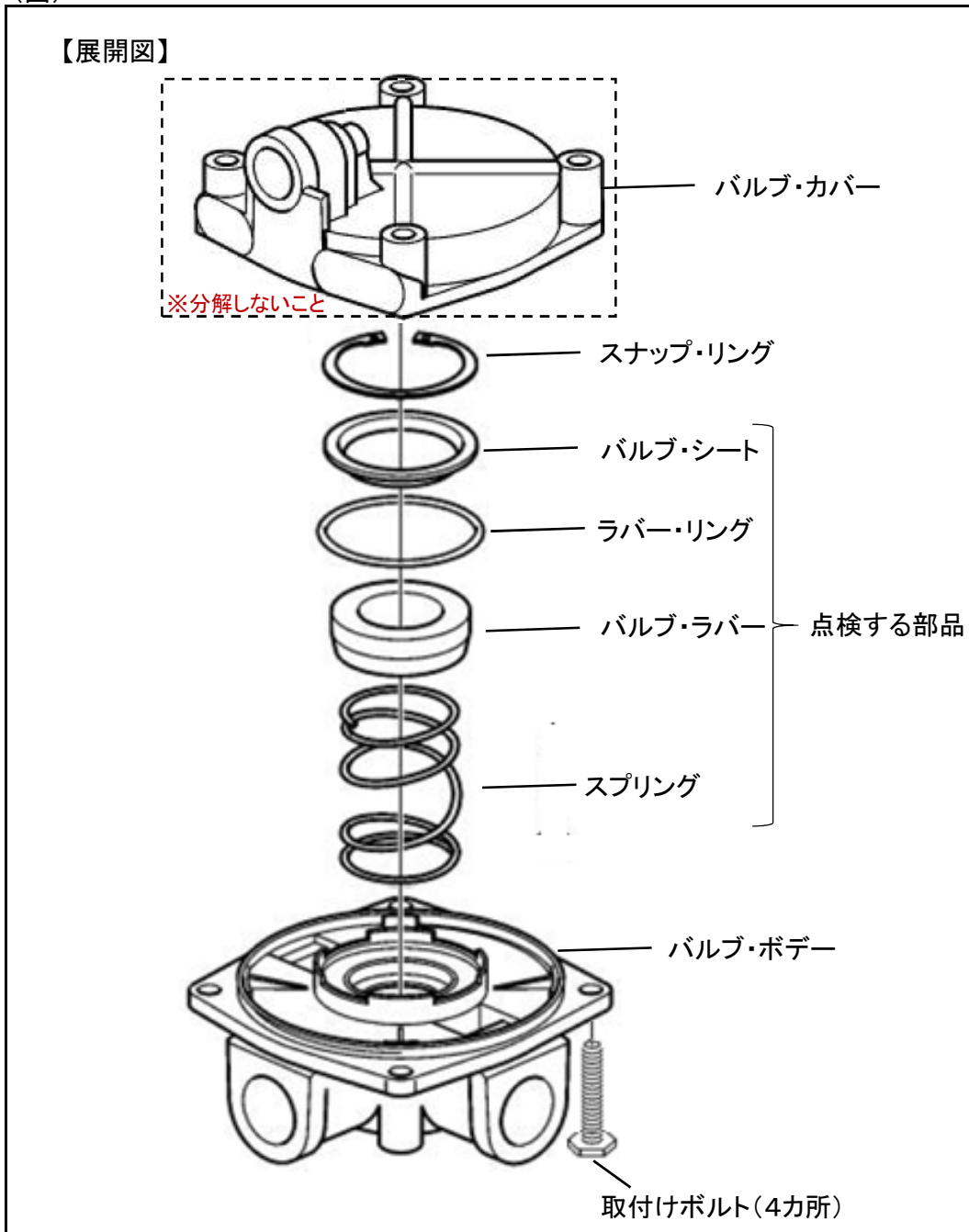
5. ワイパ・システムの正常時における回路図は、以下のとおりとする。なお、問題と関係のない部分はあらかじめ省略している。

(回路図)



【問題2】 留意事項（1／2）

1. リレー・バルブの構成部品は、下図のとおりである。
（図）

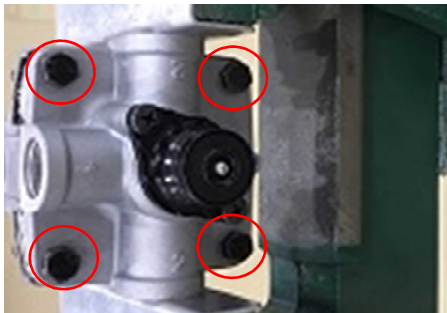


※この図では、本問題に関係のない部品の一部を省略している。

（2枚目へつづく）

【問題2】 留意事項（2／2）

2. 分解及び点検の手順は以下のとおりである。
 (ア) リレー・バルブの取付けボルト（4カ所）を外し、バルブ・カバーとバルブ・ボデーに分離。



①取付けボルト4本を緩める。



②取付けボルトをハンマーで軽く叩いて分離させる。

- (イ) バルブ・ボデー内部のスナップ・リングを外し、各部品を取り出し、点検。

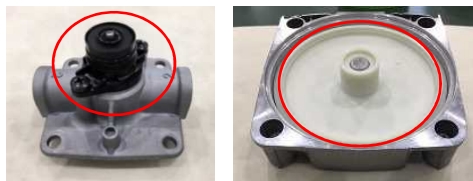


③片手でウエスを用いてバルブ・ボデー本体上部を押さえながら、スナップ・リングを外す。
 (外す際は、内部にあるスプリングの反力により飛び跳ねることがあるので台上の治具にはめ込んで固定すること。)



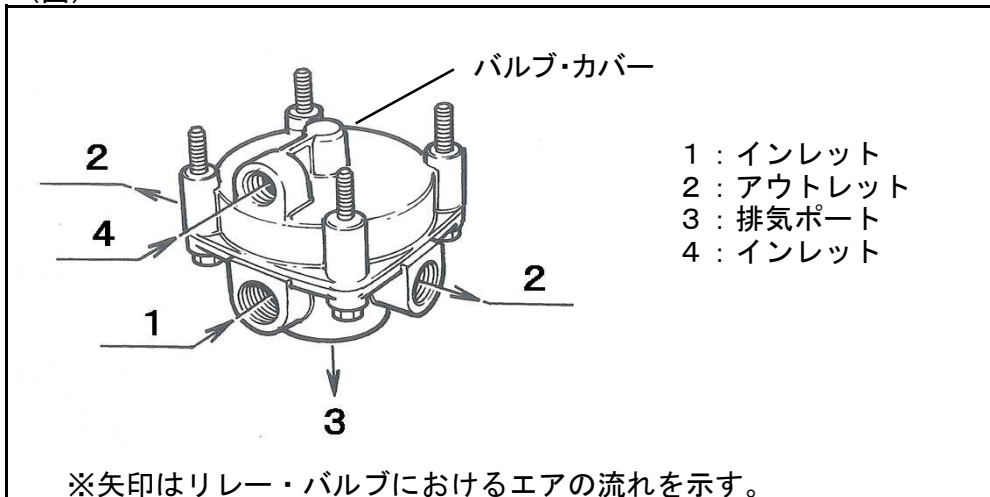
④各部品を取り出した上で、点検する。

※この部分は分解不要。



3. リレー・バルブのエアの流れは下図のとおりである。

(図)



【問題3】 留意事項

1. この自動車は、前輪をターニング・ラジラス・ゲージの上に正しくのせて水平状態にし、ブレーキをかけて安定した状態にしている。
2. ホイール・ナットは規定トルクで締め付けている。
3. ホイールに損傷はなく、タイヤの空気圧は規定値である。
4. 測定器具用アダプタは、正しく装着・調整されている。
5. 必要に応じて、ハンドル操作を採点員に依頼することができる。
6. この自動車のキャンバ、キャスト及びキングピン傾角の基準値は、次のとおりである。

測定項目 (前輪)	基準値		
キャンバ	度	分	±45分
キャスト	度	分	±45分
キング・ピン傾角	度	分	±45分

7. 左前輪のキャンバ、キャスト及びキングピン傾角は既に測定しており、測定値は次のとおりである。

測定項目 (左前輪)	測定結果	
キャンバ	度	分
キャスト	度	分
キング・ピン傾角	度	分